



三愛だより

第54号 2017年12月

社会福祉法人愛知三愛福祉会
日進市米野木町南山987-104
発行者：理事長 池田 曠

後援会報告

2017年11月3日、施設開設14周年記念感謝式の後、三愛後援会第14期の総会が開かれました。第13期の決算並びに第14期の予算が承認されました。第13期の活動の主な点は、全施設のスタッフに日ごろの労苦に感謝を表すため、職員互助会に10万円の寄付、又、車いす搭載可能な送迎車の買い換えに関わる費用の一部として100万円を寄付することが出来ました。多くの方々のご理解ご協力を心から感謝いたします。介護福祉事業をとりまく国の施策も厳しくなっており、法人を側面から支える後援会の働きが益々大切になってきております。第14期も引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

三愛後援会第13期 収支決算報告（2016年10月1日～2017年9月30日）

収入の部			支出の部			
科目	予算	決算	科目	備考	予算	決算
前期繰越	¥182,421	¥182,421	通信費	三愛だより送料	¥35,000	¥42,908
個人年会費	¥400,000	¥384,000	支払手数料	振込料負担分	¥12,000	¥12,000
法人年会費	¥50,000	¥50,000	雑費	宛名ラベル等	¥10,000	¥2,224
寄付金収入	¥400,000	¥674,000	寄付金支出	法人へ寄付・寄贈	¥900,000	¥1,100,000
			次期繰越		¥75,421	¥133,289
合計	¥1,032,421	¥1,290,421	合計		¥1,032,421	¥1,290,421

後援会第13期に年会費・寄付金などご協力頂いた皆様のお名前のみ、感謝をもってご報告させていただきます。法人へ直接ご寄付頂いた方々は、3月末の法人決算後、別途法人からご報告させていただきます。

浅井淑子	尾崎清明	杉浦哲彦	長谷川勝彦	水野正雄
青山廣美	小栗直美	鈴木かおり	長谷川高子	宮之原光枝
浅井なるみ	大野木英子	鈴木 啓	浜口 勇	三橋奈美枝
青山耕三	尾崎佳子	鈴木克代	早川重男	森岡廣實
赤羽一郎	河出三枝子	菅原利昭	早川久美子	森岡いつ子
青木芳明	加藤靖子	田口良平	早川茂代	森田皓三
井上和子	加藤光金	谷口さかゑ	濱俊彦	吉岡郁夫
石川明博	加藤勝代	武田ふみ江	日丸万里子	吉田妙子
石川小百合	神田輝夫	中條富美子	平山和雄	吉田郁子
伊藤京子	川崎俊夫	寺前 武	藤本宏子	渡辺真帆
家村省太郎	國井眞弘	豊田江美	藤本教子	渡辺めぐみ
岩本和則	桑原さやか	富澤 孝	福岡 勉	渡邊均
糸柳尚子	桑原猪之助	富澤尚美	本田健二	
池田 曠	桑原純弘	戸田安士	星野昭治	
池田満恵	桑原道代	土井孝子	星野清	
池田信一	小林成隆	中野 清	細江均	
池田まり	小林 宏	中村 仁	堀江桂子	
飯田要子	小林せき子	中村節子	丸山鉦一	
猪村正彦	近藤暁子	長屋とし子	町田玲子	
伊藤まり子	小山内慶子	永井武重	真木芳子	
石黒武彦	櫻井のり子	中村のゆり	松永シゲ子	
上田矩子	櫻井孝昌	夏目敏弥	早川雅之	
榎本久美江	下村一枝	中垣純子	前田耕作	
大畑美和子	下村徹嗣	西岡フミ子	前田栄子	◎法人・団体会員
大平綾子	志村澄江	西村高志	松井浩吉	愛知兄弟社
尾関 明	白井憲子	西村穰	宮崎恵子	金城学院みどり野会
尾関静枝	城崎幸子	西村恵子	水野洋子	コスモス特許事務所
尾崎智子	鈴木ゆき	野々山 郁	三澤克己	十字が丘復活苑
尾崎真人	鈴木伸次	林ちず子	三澤篤子	南山教会

「あなたは高価で尊い。愛されている。」

2017年11月3日（金）施設開設14周年記念式典が行われました。高橋 吉晴牧師による説教ではイザヤ書43章4節「私の目にはあなたは高価で尊い、わたしはあなたを愛している」の御言葉が語られました。高橋牧師は、神様は聖書を通して私達を高価で尊い存在だと教えられています。私達を創られた造り主の神様がそのようにおっしゃったからであり、また、どれだけの代価が払われたのかによって価値が決まってくると考えた時、神様の御子イエス・キリストの命が私達のために代価で払われたからであります。神様は愛のお方であり、愛とは与えることです。私達を愛しておられる神様は御子イエス様をお与えになり、イエス様はご自分の命をお与えになりました。また、神様のその愛を知った前理事長尾崎志満子さんやご家族を含め多くの方達の祈りを用いて、愛する皆さんのためにここにこのような施設を立ち上げられました。神なるイエス様はその名を呼ぶだけでそばにいて、私達が死の川を渡るときも「恐れるな、わたしがあなたと共にいる」とおっしゃいます。なぜならばご自分の命を代価として買い取った私達はイエス様にとって高価で尊い存在であり、愛されている存在ですからと語られました。最後に、神様が14年間この施設を守り祝福し用いられたこと心から感謝し、いよいよこの施設が地域の光として主の御用のために用いられるように祈られました。「神を愛し、人を愛し、地を愛す。」三愛の理念がどこから来たのかを改めて深く考える恵みが与えられました。



続いて行われた感謝式では池田 曠理事長の挨拶がありました。14周年を皆様と共に迎えられてこのような式典が行われることを心から感謝します。施設開設にあたってそのきっかけになったのは「最も小さなものにした事は私にしてくれたこと」と語られたイエス様の御言葉でした。この最も小さなものは誰の事でしょう。それは私達自身のこと、奉仕する人される人、元気な人、そうではない人、ご年配の人若い人すべてを含めて、皆は最も小さなものであるだろうと思います。自分一人では生きて行けない、惨めで情けない最も小さな私達に神様はイエス様をお与えになり、イエス様による恵みと喜びの中で生かされていることを施設を通して教えて下さいます。来年は15周年、また20年30年50年と続くこの三愛福祉会でどうか、皆さん一人ひとりが受けた恵みを感謝しお互いに励まし合い、恵みによる喜びを分かち合い神様の愛を一人でも多くの人に伝えながら皆と歩んでいきたいと願います。これまでの皆様の支えを感謝いたします。これからも宜しく願いいたします。

引き続き、10年・5年継続在籍スタッフへの表彰状贈呈が行われました。表彰を受けた15名のスタッフを代表して10年継続在籍のグループホームあいわ管理者の伊藤さん、5年継続在籍のデイサービスあい介護の平田さんによる挨拶がありました。伊藤さんは『たくさんの人々からの支えがありここまで来られた事を感謝します。介護は命と隣り合わせの仕事だからこそ常にリスクもつきまといます。それでもこの仕事を続けようと思うのは命と向き合える素晴らしいご縁をもらっていると感じられるからです。設立者である故尾崎志満子様の思い出のある三愛の理念を胸に今後もなお一層努力することを誓います。』また、平田さんは『入職したときは理念である三愛精神を知りませんでした。この5年間に周りの多くの方達に支えられ、恵まれた環境で仕事が出来たのを知り、感謝の気持ちが芽生えてきました。そして反省や目標を持つ事も出来ました。これからは支えて頂いた事の恩返しの気持ちで、まだ未熟ではありますが三愛精神を基に頑張りたいと思います。』との挨拶がありました。

感謝式を終え、後援会の総会が行われました。総会の中で、車いす搭載可能送迎車のための資金の一部として後援会より100万円の寄附があり贈呈式も行われました。

14周年のすべての式典を恵みの中で無事に終わらせてくださった神様の御名を称えます。 礼拝司会者

文化祭

今年も文化祭の季節が訪れました。毎年この頃には、「秋は夕暮れ」を感じてもすぐ去ってゆき、冬はいつの間にか私達の所に近づいて来て寒さを感じさせてくれます。

今年の文化祭も2017年11月3日(金)の施設開設記念日に開催されました。午後2時に始まった文化祭は楽しい、嬉しい、面白い、懐かしいなどなどの思い出作りの時となりました。昨年に続いて2回目の司会を務めた理学療法士の山本さんは「住人さん、デイの皆さん、職員が出演してくださり、文化祭を盛り上げてくださいました。たくさんの笑顔があふれ、楽しい時間となりました。会場の一体感を感じ、温かい文化祭となりました。皆様ありがとうございました。」との感想を述べました。また、特養の新しいケアマネジャーとして文化祭に参加した辻さんは「文化祭冒頭挨拶を住人さんにいただき、最後には全員で万歳三唱をすることが出来ました。これからも住人さんに喜んで頂けるよう皆で協力していきたいです。」また、入職して初めて参加した職員は「住人さんと職員がどのプログラムも緊張しつつ楽しみながら参加されているのを見て温かい施設だと実感しました。来年は少しでもお役に立てるように私も頑張りたいと思います。」と嬉しそうに言われました。ご家族も沢山来られて一緒に見て応援してくださいましたので参加者も準備したスタッフにとっても大きな励みになりました。



スタッフによるフラダンス



住人さんの冒頭のご挨拶



楽器演奏とあいわ皆さんの合唱



デイご利用者とスタッフの出し物

施設行事として年一度行われる文化祭は毎年その内容などが少しずつ変わりますが住人さん、ご利用者ご家族、職員が共に楽しむ場としてこれからも続けていこうと思います。又来年、冬が訪れる前には文化祭の準備のために忙しくなります。

ボランティアコンサート

アドベント クリスマス コンサート

ラウディス会の皆様によるクリスマス コンサートが今年も行われました。イエスキリストのご聖誕を待ち望む期間に歌われるアドベントコンサートの讃美は希望と喜びを運んでくれるように感じます。ラウディス会の皆様の気持ちが施設の皆に歌と共に伝わりました。感謝いたします。



Keiko&Kouji コンサート

お久しぶりにKeiko&Koujiさんのコンサートが行われました。12月の季節感たっぷりのコンサートはクリスマスソングなどKeikoさんの甘いお声と良く合い施設の皆の心に響きました。新しい年になったらまた来ますね!との約束もして下さいました。いつもありがとうございます。

お知らせ

クリスマスおめでとうございます。
今年もイエス・キリストのご聖誕を皆様と共に祝う恵みが与えられ感謝致します。

クリスマス特別礼拝

日時：2017年12月25日(月) 14:00~15:00

場所：愛知三愛福祉会特別養護老人ホームのぞみ 1階ホール

プログラム：1部 感謝礼拝

2部 音楽祭

参加対象：どうぞどなたでもご参加ください。



企画紹介

愛知三愛福祉会ではボランティア活動とは別に、スタッフによる誕生日会を始め、季節を感じられる企画等定例化、恒例化している企画があります。各部署の職員が毎日の生活の中で、少しの刺激・少しの変化、非日常性を楽しんで頂ければと思いい企画を立案しています。今回はその一部だけですがご紹介いたします。



特養のぞみ おはぎ作り

皆さんおはぎ作りの経験があり、とても手際良く作って見えていました。



ショートステイのぞみ 朝食焼きたてパン

「喫茶店に行ってモーニングをよく食べたなあ」という利用者様の声から始まった企画です。毎月の企画として継続しています。



デイサービス 運動会

開会式から始まり4つの競技をしました。「気持ちいい汗をかいた」と喜んで見えました。毎年開催しています。

ショートステイのぞみ 昼食

鍋や五平餅やお好み焼き等をご利用者と一緒に作っています。

最近は包丁をあまり使っていなかった方でも、イキイキとした表情で手際よく食材を切っていました。



朝食焼きたてパンと同様、毎月定例の企画として継続をしています。



デイサービス 干し柿

干し柿を作りながら、昔の干し柿作りの話から始まり、子育ての話等様々な思い出を聞くことができました。完成が楽しみです。



敬老の日 日進市長訪問

9月15日(金) 10:00に日進市の市長が特別養護老人ホームのぞみへ来訪されました。100歳の方や米寿の方、また100歳以上の方と様々ですが、お一人おひとりに挨拶をされて、ご家族様と共に敬老のお祝いの言葉と賞状の授与・金一封の贈呈をされました。いつまでもお元気に過ごしていただけるように、皆様の生活を支えるケアをしていきたいと思っております。



編集後記：12月に入り、もう1年が過ぎようとしています。皆様はどんな1年を過ごされたでしょうか？私は社会福祉法改正に始まり、目まぐるしい社会情勢の変化の対応に追われた1年だったように思います。新しい年が明けてすぐ介護、診療報酬同時改定が控えていますので、また慌しい1年になりそうです。

寒さも一段と増してきていますので、風邪やインフルエンザなどにお気をつけてこの年末・年始をお過ごし下さい。